

平成27年度 事業報告

平成27年度の畜産物価格は、前年度に引き続き子牛、肉牛、肉豚の枝肉、鶏肉、鶏卵で堅調に推移してきました。特に、子牛市場価格は、本年3月の市場平均価格が800千円を超える高値となりました。

しかし、畜産農家の高齢化や担い手の不足等は続いており、飼養戸数、頭数が著しく減少し生産基盤の弱体化は止まらない状況となっております。

また、本年2月4日にTPPの署名が行われ、関税の引き下げが現実化し始めております。国は、この対策として畜産クラスター関連対策事業の基金を610億造成し、施設整備・機械導入事業を実施すると共に、肥育牛、肉豚の価格安定対策事業の法制化を決定しました。

このような状況の中で、本県の農業産出額の35%を占める畜産は、本県農業の振興において重要な品目であります。このため協会は、県、市町、JA等関係機関の協力を頂きながら畜産農家の経営支援対策や価格安定対策、家畜衛生対策のため各種事業に取り組んでまいりました。

経営支援対策では、肉用牛経営安定対策補完事業及び協会が実施する豊後牛増頭チャレンジ推進事業により、本年度は380頭の優良繁殖雌牛の導入を行い肉用牛の増頭を推進しました。

また、畜産コンサルタント委託事業や畜産特別資金等推進指導事業により畜産農家の経営改善計画の作成指導や経営管理技術の改善指導を行いました。

更に、担い手の育成として、各種研修会を開催しました。特に肉用牛の後継者に対して肉用牛ゼミナールを開催し、経営、流通、飼養管理技術等の研修会を行い担い手の育成にも努めました。

価格安定対策では、肉用子牛生産者補給金制度、肉用牛肥育経営安定特別対策事業、養豚経営安定対策事業を実施しました。

子牛価格及び肉豚枝肉価格は高値で推移したため、補填金の発動はありませんでした。一方、肥育牛では、肉専用種の枝肉価格が高値で推移したことにより発動はなかったものの、交雑種、乳用種では本年度の前半まで枝肉価格が安かったため、交雑種と乳用種3,265頭に69,724千円の補填金の交付を行い肥育農家の支援を行いました。

家畜衛生対策では、農場衛生管理指導の支援を行い、農場飼養衛生管理の徹底を推進すると共に、自衛防疫の意識を高めるための研修会等を開催し、疾病の発生防止や衛生対策に対する意識の向上を図りました。

特に、本年度初めて肥育牛と採卵鶏の経営体を、農林水産省の農場HACCP認証基準に基づく、農場HACCP認証農場に育成することができました。

更に、昨年10月には、大分県農林水産祭の一環行事として第76回大分県畜産共進会、畜産フェスタ等を開催し、畜産物の消費拡大と広報活動に取り組み、畜産に対する理解の醸成に取り組んでまいりました。

本協会の運営は、金利や手数料等の収入減少で、厳しい運営状況が続いておりますが、新規事業や一部事業の拡大に取り組むと共に、運営経費の削減に努め、公益法人としての役割を果たすため、役職員一丸となって努力してまいりました。

本協会の運営状況

1. 役員会の開催

区分	開催月日	主要議決事項	出席人員	備考
監事会	平成27年 5月13日	平成26年度事業及び収支決算の監査	監事3名	
理事会	平成27年 5月15日	(1)肉用子牛生産者補給金制度に係る肉用子牛1頭あたりの生産者負担金の額について (2)肉用牛肥育経営安定特別対策事業業務方法書の一部改正並びに肥育牛1頭あたりの生産者積立金額について (3)平成26年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録について (4)役員改選について (6)平成27年度第1回通常総会の開催について	理事10名 監事1名	
理事会	平成27年 5月29日	(1)会長の互選について (2)専務理事の互選について (2)大分県家畜防疫互助基金支援事業業務方法書の一部改正について	理事7名 監事1名	
監事会	平成27年12月 9日	平成27年度上半期監査	監事2名	
理事会	平成28年 2月26日	(1)特別の積立金(特定準備金)の一部取崩について (2)平成27年度補正予算(案)について (3)平成28年度会員会費負担額及び徴収期日について (4)平成28年度役員報酬の決定について (5)肉用牛肥育経営安定対策特別対策事業事務手数料の徴収について (6)平成28年度予防接種事業標準対価表について (7)平成28年度事業計画及び収支予算(案)について (8)資産等の預入先及び運用取引先の決定について (9)借入金の最高限度額及び借入先金融機関の決定について (10)特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針及び特定個人情報等取扱規程の制定について		

		(11) 就業規則の一部改正について (12) パートタイマー就業規則の一部改正について (13) 定款の一部改正について (14) 役員を選任（補充）について (15) 平成27年度第2回通常総会の開催について		
--	--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

2. 通常総会の開催について

第1回

開催月日・開催場所	平成27年5月29日・全農大分3階研修所	
総会日現在会員数(A)	48会員	
出席会員数	実出席会員数(B)	16会員(出席率B/A 33%)
	書面による出席会員数	27会員
	計(C)	43会員(出席率C/A 90%)

主要議案及び議決事項

- (1) 平成26年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録について
- (2) 役員の変更について

第2回

開催月日・開催場所	平成28年3月22日・全農大分3階研修所	
総会日現在会員数(A)	48会員	
出席会員数	実出席会員数(B)	17会員(出席率B/A 35%)
	書面による出席会員数	30会員
	計(C)	47会員(出席率C/A 98%)

主要議案及び議決事項

- (1) 平成27年度補正予算(案)について
- (2) 平成28年度会員会費負担額及び徴収期日について
- (3) 平成28年度役員報酬の決定について
- (4) 平成28年度事業計画及び収支予算(案)について
- (5) 資産等の預入先及び運用取引先の決定について
- (6) 借入金の最高限度額及び借入先金融機関の決定について
- (7) 定款の一部改正について
- (8) 役員を選任（補充）について

3. 臨時総会の開催

無し

4. 会員の状況

異動 資格別	前年度末 現在	本 年 度 増	本 年 度 減	本年度末 現在	備 考
正 会 員	48	0	0	48	
賛 助 会 員	1	0	0	1	
計	49	0	0	49	

5. 役員の状況

異動 区 別	前年度末 現在	本 年 度 辞 任	本 年 度 就 任	本年度末 現在	備 考
常勤理事	1	0	0	1	
非常勤理事	13	4	4	13	
非常勤監事	3	1	1	3	
計	17	5	5	17	

6. 従業員の状況

異 動	前年度末 現 在			本年度末 現 在			増 減		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
職 員	3	2	5	3	2	5			
嘱託(常勤)	6	0	6	5	0	5	△1		△1
臨時事務員	0	5	5	0	4	4		△1	△1
パート職員	0	3	3	0	4	4		1	1
計	9	10	19	8	10	18	△1		△1

7. 平成27年度主要行事等

月 日	内 容	場 所
4月17日	大分畜産Net鼓動”鼓動”通常総会	大分市
4月24日	ゆめネットおおいた 通常総会	日田市
5月13日	監事決算監査	大分市
5月15日	第1回理事会	大分市
5月29日	第1回通常総会	大分市
5月29日	第2回理事会	大分市
6月19日	県共進会全体会議	大分市
6月25日	全国肉用牛振興基金協会通常総会	東京都
6月26日	中央畜産会通常総会	東京都
7月23～24日	畜特資金九州ブロック会議	鹿児島県
7月29日	肉用牛経営安定対策補完事業九州ブロック会議	宮崎県
9月3～4日	畜産コンサル九州ブロック会議	鹿児島県
9月7日	九州ブロック専務・事務局長会議	長崎県
9月10～11日	家畜畜産物衛生指導業務九州ブロック協議会	佐賀県

9月30日～10月1日	子牛補給金九州ブロック会議	熊本県
10月3日	第76回大分県畜産共進会 肉牛の部	豊後大野市
10月24日	第76回大分県畜産共進会 肉用牛の部	別府市
10月24～25日	大分県農林水産祭 畜産フェスタ	別府市
11月26～27日	マルキン九州ブロック会議	沖縄県
11月26～27日	九州ブロック経理事務担当者会議	沖縄県
12月9日	上半期監査	大分市
2月10日	法人の運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査	大分市
2月4日	肉用牛担い手支援事業に係る肉用牛ゼミナール閉講式	大分市
2月26日	第3回理事会	大分市
3月22日	第2回通常総会	大分市

8. 会員の状況

寄託金及び会費一覧表

(平成28年3月31日現在)

(単位:口、千円)

会 員 名	価 格 安 定				家 畜 衛 生		経 営 支 援	合 計
	子 牛		肉 豚		口 数	金 額	会 員 会 費	
	口 数	金 額	口 数	金 額				
【正会員】								
1 大 分 県	10,000	100,000	0	0	2,500	25,000		125,000
2 大分県農業協同組合中央会	1	10	0	0	0	0	111	121
3 大分県信用農業協同組合連合会	766	7,660	200	2,000	0	0	346	10,006
4 全国農業協同組合連合会 大分県本部	2,626	26,260	751	7,510	520	5,200	1,455	40,425
5 全国共済農業協同組合連合会	383	3,830	150	1,500	0	0	60	5,390
6 大分県酪農業協同組合	500	5,000	0	0	300	3,000	778	8,778
7 大分県農業信用基金協会	0	0	0	0	0	0	110	110
8 株式会社 大分県畜産公社	0	0	10	100	0	0	130	230
9 (一社)大分県配合飼料価格安定基金協会	10	100	51	510	0	0	60	670
10 (公社)大分県獣医師会	0	0	0	0	60	600	60	660
11 大分県農業共済組合	0	0	0	0	10	100	200	300
12 姫 島 村	2	20	0	0	0	0		20
13 日 出 町	13	130	0	0	0	0		130
14 玖 珠 町	171	1,710	0	0	0	0		1,710
15 九 重 町	152	1,520	0	0	0	0		1,520
16 国 東 市	36	360	0	0	0	0		360
17 豊後高田市	11	110	0	0	0	0		110
18 杵 築 市	71	710	0	0	0	0		710
19 別 府 市	16	160	0	0	0	0		160
20 大 分 市	48	480	0	0	0	0		480
21 由 布 市	148	1,480	0	0	0	0		1,480
22 臼 杵 市	24	240	0	0	0	0		240
23 津 久 見 市	2	20	0	0	0	0		20
24 佐 伯 市	39	390	0	0	0	0		390
25 豊後大野市	303	3,030	0	0	0	0		3,030
26 竹 田 市	327	3,270	0	0	0	0		3,270
27 日 田 市	58	580	0	0	0	0		580
28 中 津 市	35	350	0	0	0	0		350
29 宇 佐 市	102	1,020	0	0	0	0		1,020
30 大 分 県 農 業 協 同 組 合	3,920	39,200	412	4,120	0	0	2,460	45,780
31 べっぶ日出 "	79	790	2	20	0	0	120	930
32 玖珠九重 "	1,024	10,240	2	20	0	0	120	10,380
33 九重町飯田 "	181	1,810	0	0	0	0	60	1,870
34 下 郷 "	11	110	0	0	0	0	60	170
35 (公社)全国和牛登録協会 大分県支部	0	0	0	0	0	0	60	60
36 大分県養豚協会	0	0	0	0	0	0	60	60
37 大分県養鶏協会	0	0	0	0	0	0	60	60
38 県中央豚鶏疾病対策協議会	0	0	0	0	317	3,170		3,170
39 県南地域豚病対策協議会	0	0	0	0	397	3,970		3,970
40 県西地区 "	0	0	0	0	105	1,050		1,050
41 県北 "	0	0	0	0	347	3,470		3,470
42 県南地域鶏病対策協議会	0	0	0	0	70	700		700
43 県西地区 "	0	0	0	0	106	1,060		1,060
44 県北 "	0	0	0	0	291	2,910		2,910
45 県中央牛疾病対策協議会	0	0	0	0	12	120		120
46 県南 "	0	0	0	0	55	550		550
47 県西 "	0	0	0	0	37	370		370
48 県北 "	0	0	0	0	10	100		100
【賛助会員】								
1 ジェイエイ北九州くみあい飼料株式会社	0	0	50	500	0	0	500	1,000
総 合 計	21,059	210,590	1,628	16,280	5,137	51,370	6,810	285,050

正 会 員 48

賛 助 会 員 1

(経営支援課)

1. 肉用牛経営安定対策補完事業 (肉用牛生産基盤強化対策事業)

(1) 肉用牛生産基盤強化対策事業

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	55,228,000	42,762,772

1) 中核的担い手育成増頭推進

地域の中核的担い手が計画的に優良な繁殖雌牛を増頭した場合に、増頭実績に応じて、1頭当たり80,000円(103頭)、育種価要件の高い牛には100,000円(202頭)の補助金を交付した。

(単位：頭、円)

事業実施者	計 画		実 績	
	頭 数	金 額	交付頭数	交付金額
JA おおいた国東事業部	5	500,000	14	1,140,000
JA おおいた杵築事業部	15	1,500,000	8	780,000
JA おおいた山香事業部	20	2,000,000	23	2,280,000
JA おおいた由布事業部	15	1,500,000	19	1,720,000
JA おおいた臼杵事業部	4	400,000	4	320,000
JA おおいた野津事業部	3	300,000	2	200,000
JA おおいた佐伯事業部	10	1,000,000	7	640,000
JA おおいた豊後大野事業部	20	2,000,000	21	1,920,000
JA おおいた竹田事業部	106	10,600,000	104	9,680,000
JA おおいた日田事業部	30	3,000,000	5	480,000
JA おおいた北部事業部 (豊後高田)	10	1,000,000	30	2,960,000
JA おおいた北部事業部 (宇佐)	14	1,400,000	11	1,060,000
JA おおいた北部事業部 (中津)	11	1,100,000	9	840,000
べっぶ日出農業協同組合	6	600,000	1	100,000
玖珠九重農業協同組合	50	5,000,000	34	3,120,000
九重町飯田農業協同組合	12	1,200,000	7	680,000
下郷農業協同組合	9	900,000	6	520,000
合 計	340	34,000,000	305	28,440,000

2) 優良繁殖雌牛導入支援

繁殖雌牛飼養頭数の維持・増頭を図るため、導入計画に基づき、生産者集団等が優良な雌牛を購入し、一定期間自ら飼養する場合、又は生産者に一定期間貸し付ける場合に1頭当たり40,000円(0頭)育種価要件の高い牛には50,000円(75頭)の補助金を交付した。

(単位：頭、円)

事業実施者	計 画		実 績	
	頭 数	金 額	交付頭数	交付金額
JA おおいた山香事業部	2	100,000	0	0
JA おおいた佐伯事業部	2	100,000	11	550,000
JA おおいた竹田事業部	30	1,500,000	22	1,100,000
JA おおいた日田事業部	27	1,350,000	16	800,000
JA おおいた北部事業部 (中津)	15	750,000	6	300,000
べっぶ日出農業協同組合	1	50,000	1	50,000
玖珠九重農業協同組合	40	2,000,000	12	600,000
九重町飯田農業協同組合	20	1,000,000	7	350,000
合 計	137	6,850,000	75	3,750,000

3) 肉用牛ヘルパー推進

担い手の高齢化等に対応し、肉用牛生産の労働負担の軽減を図るため、利用組合が実施する肉用牛ヘルパー活動の組織化、要員確保、傷病時等の際のヘルパー利用に係る互助制度の支援を行う肉用牛ヘルパー制度を推進し、利用者に対して利用料金の1/2以内で補助金を交付した。

(単位：円)

事業実施者	計画額	実 績	内訳	
			交付額	その他
庄内町肉用牛ヘルパー利用組合	1,550,050	1,635,578	690,579	944,999
湯布院町肉用牛ヘルパー利用組合	1,856,400	1,728,395	806,297	922,098
佐伯南郡地域肉用牛ヘルパー組合	309,000	305,400	141,350	164,050
豊後大野市肉用牛ヘルパー推進協議会	9,331,420	3,428,772	1,511,913	1,916,859
久住地域肉用牛ヘルパー組合	7,290,000	5,699,245	1,758,585	3,940,660
大分由布畜産サポート組合	1,944,000	1,632,960	503,874	1,129,086
合 計	22,280,870	14,430,350	5,412,598	9,017,752

4) 肉用牛振興推進指導

中核的担い手育成増頭推進、優良繁殖雌牛導入支援及び肉用牛ヘルパー推進の事業を円滑に実施するための関係機関の調整、増頭確認、肉用牛ヘルパーの実態調査及び推進指導を実施した。

区 分	計画 (円)	実績 (円)
肉用牛振興推進指導事務費	5,714,400	5,160,174

2. 豊後牛増頭チャレンジ推進事業

肉用牛の規模拡大による経営の安定や豊後牛の銘柄確立を図ると共に、地域活性化のため生産基盤の強化を図った。肉用牛農家等が繁殖雌牛を増頭した場合に1頭当たり70,000円の奨励金を交付した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
大分県畜産協会	23,800,000	18,060,000

(単位：頭、円)

事業実施者	計 画		実 績	
	頭 数	金 額	交付頭数	交付金額
JA おおいた国東事業部	5	350,000	10	700,000
JA おおいた杵築事業部	15	1,050,000	8	560,000
JA おおいた山香事業部	20	1,400,000	10	700,000
JA おおいた由布事業部	15	1,050,000	19	1,330,000
JA おおいた臼杵事業部	4	280,000	4	280,000
JA おおいた野津事業部	3	210,000	2	140,000
JA おおいた佐伯事業部	10	700,000	7	490,000
JA おおいた豊後大野事業部	20	1,400,000	21	1,470,000
JA おおいた竹田事業部	106	7,420,000	101	7,070,000
JA おおいた日田事業部	30	2,100,000	5	350,000
JA おおいた北部事業部 (豊後高田)	10	700,000	12	840,000
JA おおいた北部事業部 (宇佐)	14	980,000	10	700,000
JA おおいた北部事業部 (中津)	11	770,000	9	630,000

べっぷ日出農業協同組合	6	420,000	1	70,000
玖珠九重農業協同組合	50	3,500,000	27	1,890,000
九重町飯田農業協同組合	12	840,000	6	420,000
下郷農業協同組合	9	630,000	6	420,000
合 計	340	23,800,000	258	18,060,000

3. 畜産特別資金等推進指導事業

経営の悪化している農家に対して、長期低利資金の融資を行い、関係機関が一体となって総合的な支援指導を実施し、資金借受農家の経営改善を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 補助金	3,800,000	3,410,842

実施事項	回数 部数	人数 戸数	内容
都道府県支援推進協議会の開催	3回	延べ 42名	・平成26年の事業実施報告並びに平成27年度の事業推進、指導方針、指導体制について協議した。 ・融資機関の指導体制、今後の指導方針について協議した。 ・中央支援協議会との畜産特別資金の実態調査に係る意見交換を行った
融資機関への指導・助言	14回	9機関	経営改善計画の達成状況の確認並びに借受者に対する指導状況・内容等に関する指導を行った。
経営改善計画見直し指導	10回	14戸	貸付実行年度の翌年から5年間毎年必要となる経営改善見直し計画作成に係る支援・指導を行った。また、県の見直し計画審査会で審査を行った。
経営改善計画達成指導	62回	21戸	経営改善計画に対する達成状況や改善状況を確認し指導を行った。
畜産特別資金借受者指導用資料	2,050部		繁殖技術改善のために繁殖台帳(2,000部)を作成し繁殖経営に記帳指導を行った。また、借入者の経営改善のための指導資料として「経営改善計画書、モニタリングシステム説明書」50部を作成し融資機関、指導機関へ配布した。
研修会の開催	1回	34人	「経営改善に向けた支援指導の強化」をテーマに融資機関、関係機関を対象に外部講師を迎え経営改善計画書・モニタリングエクセルシステムの操作方法、数値の関連性等の研修を開催した。

4. 畜産経営技術指導事業（地域畜産支援指導等体制強化）

地方競馬全国協会の補助を受け県内畜産経営の支援を強化することにより、地域畜産の活性化や安全で安定的な畜産物の供給に向けて以下の事業を実施した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
地方競馬全国協会 補助金	7,842,000	7,842,000

(1) 畜産経営の支援体制の強化を図る事業

1) 畜産経営改善指導及び担い手の育成支援業務

畜産農家の経営診断を行い、診断結果に基づき経営安定のため改善指導を実施した。
また、肉用牛の担い手が組織する畜産ネットワークの活動も支援した。

(2) 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業

1) 食育学級の実施と県産畜産物の消費拡大推進業務

県内の小学生を対象に、生産者のネットワーク組織と連携して、食育授業を開催した。
また、県産畜産物の消費拡大のため生産者と連携して、県農林水産祭等で一般消費者に対して広報活動を行い、畜産に対する理解の醸成を図った。

(3) 馬事・畜産普及啓発の推進体制の強化を図る事業

1) 地方競馬支援対策業務

新たな競馬ファン獲得を目的に、一般の方を対象に佐賀競馬場への観戦ツアーを開催した。また、畜産の普及啓発のための冠競走及び重賞競走へ県産畜産物を副賞として授与する等、地方競馬と畜産物に対する意識の高揚を図った。

5. 肉用牛担い手人材育成事業

肉用牛経営を支える新たな担い手を確保するため、地域のリーダーとなる担い手の人材育成や、肉用牛農家の労働力不足の解消や定期的な休日確保のためのヘルパー要員育成に向けて研修会の開催や支援活動を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
大分県 委託費	3,000,000	3,177,813

(1) 経営体育成事業

経営感覚のある意欲的な担い手確保、地域のリーダー育成、6次産業の推進や雇用型経営を実践する農家を育成するために肉用牛ゼミナールを開講し、専門研修・流通研修を開催した。また受講生に経営感覚を身につけてもらうために経営診断を行い、現地指導も行った。

(2) ヘルパー育成事業

労働力不足の解消、定期的な休日の確保、規模拡大、高齢農家の経営維持等を推進するため、肉用牛経営を支えるヘルパー要員育成のための研修会を1回開催した。

区 分	受講生	研修会開催	経営診断
経営体育成事業	30人	2回	7戸
ヘルパー育成事業	1人	1回	—

(3) 肉用牛ゼミナール支援事業

肉用牛担い手人材育成事業の参加者が、経営者としての意識改革を図るため、省力化・低コスト生産技術等の習得を目的に先進地研修を開催した。

4コース（北海道、広島・兵庫、岐阜・三重、熊本・長崎）、参加受講生18名。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
大分県	320,000	312,770

6. 畜産コンサルタント委託事業

(1) 畜産経営支援指導研究会の開催

畜産経営体への支援指導の進め方及び対象農家の選定について協議した。

(2) 畜産経営技術総合指導事業

経営改善指導として、肉用牛農家27戸、酪農家8戸に対して個別に経営診断を実施し分析結果をもとに改善指導を行った。

経営管理技術指導として、肉用牛農家1戸、酪農家2、養豚農家3戸に対して経営指標データ収集並びに新規参入に係る個別支援を行った。

生産技術指導は、肉用牛農家4戸に対して出荷データをもとに生産技術分析を行なった。また、家畜市場において幅広く農家の各種要望に応じていくために相談窓口を開設した。

(3) 畜産情報の提供

ホームページを充実し、畜産農家が容易に利用できる情報や資料を整備し提供するとともに消費者に向けて畜産等に関する情報を発信した。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
大分県 委託費	3,600,000	3,600,000

《支援指導戸数》

(単位：戸)

区分	肉用牛	酪農経営	養豚経営	合計
経営改善指導	27	8	-	35
経営管理指導	1	2	3	6
生産技術指導	4	-	-	4
合計	32	10	3	45

7. 貸付事業指導等事業

公益財団法人 畜産近代化リース協会の機械施設借受者に対して、機械施設の保管状況の確認と管理状況の調査を実施し、適正な利用についての支援指導を行った。

また、農協等を巡回し、各担当者へ畜産機械施設リースの説明を行い、新規開拓を実施した。

区分	予算額 (円)	決算額 (円)
畜産近代化リース協会 委託費	330,000	330,000

8. 畜産関係団体調整機能強化事業

生産者組織「大分畜産 Net 鼓動」・「ゆめネットおおいた」を中心として県内の肉用牛生産者を対象として、経営管理、生産技術研修会を開催し個々のスキルアップを図ると共に、消費者への県産畜産物のPR活動も行った。

区分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	190,000	190,000

9. 日本政策金融公庫調査委託事業

(株) 日本政策金融公庫の調査委託事業として、公庫資金の広報・相談活動並びに公庫資金の活用について調査・広報を行った。

区分	予算額 (円)	決算額 (円)
日本政策金融公庫 委託費	50,000	50,000

10. 公庫資金活用推進事業

公庫資金借入希望者 1 戸の資金借入計画書の作成支援を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	50,000	50,000

11. 地域畜産基盤維持継続緊急対策事業

肉用牛繁殖経営22戸を対象に経営及び飼養管理技術調査を実施するとともに技術レベルが標準の技術レベルを下回った経営1戸に対して個別指導支援を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	630,800	512,966

12. 酪農生産基盤確保・強化緊急支援事業

酪農経営における飼養頭数や生乳生産の減少を食い止めるとともに、経営の体質強化や多角化等を目的に地域の担い手・後継者層等を対象に経営管理技術並びに飼養管理技術向上に向け技術研修と経営研修を2回開催した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託	400,000	376,368

13. 肉用牛経営安定対策補完事業の多様な担い手支援事業

肉用牛経営における新規就農者や後継者の確保など担い手の育成のため経営技術の向上やネットワークの構築により経営上の課題を克服することを目的に、飼養管理技術向上に向けた研修会を2回開催した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託	400,000	400,566

14. 畜産クラスター全国推進事業

畜産クラスターに係る取り組みを全国で推進するうえで必要な情報を得るため、県内の先進的な経営体等を対象に経営調査を行なった。(肉用牛繁殖経営10事例)

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託	400,000	361,540

15. 畜産現場における障がい者の参画推進支援事業

障がい者の畜産現場への就労参画を推進するために、就労を受け入れる畜産経営体等における就業環境や就業条件等畜産現場の取り組みや課題に関するアンケート調査を実施した。〔5事例〕

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託	84,000	83,735

16. 畜産共進会及び畜産フェスタ開催事業

大分県農林水産祭（第39回大分県農業祭）の一環行事として、第76回大分県畜産共進会並びに畜産物の消費拡大を図る畜産フェスタを豊後大野市・別府市で開催した。

(1) 第76回大分県畜産共進会の開催

区 分	肉牛の部	種畜の部	
		肉用牛の部	乳用牛
開催時期	10月3日	10月24日	全日本ホルスタイン 共進会の為 中止
開催場所	豊後大野市	別府市	
出品家畜	肉牛	肉用牛	
出品頭数	49頭	67頭	

(2) 畜産フェスタの開催

区 分	畜産フェスタ
開催時期	10月24日・25日
開催場所	別府市

17. 養豚協会、養鶏協会等の活動支援

経営支援課内に団体支援室を設け各団体の活動支援を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
団体事務委託収入	1,056,000	1,057,943

18. 種豚登録業務

大分県養豚協会より業務委託を受け、日本養豚協会の規定に基づき種豚の改良増殖を推進するとともに、養豚経営体の生産基盤強化を図るために登録業務を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
協会事業	359,100	314,820

主な種別	実施予定頭数	実績頭数
系統維持施設認定	1 施設	1 施設
黒豚生産農場認定	1 施設	1 施設
子豚登記	1 1 5 頭	9 7 頭
種豚登録	2 5 頭	2 4 頭
系統種豚登録	0 頭	0 頭

19. 情報活動事業

中央並びに県内における畜産に関する資料を収集し、関係者に対する情報提供を行うと共に、中央畜産会が発刊する畜産コンサルタント誌・経営情報など参考資料等の斡旋を積極的に行った。

また、ホームページでは、畜産コンサルタント、経営相談窓口、資金制度、価格安定制度、衛生情報、補助事業、畜産ネットワーク組織の活動、県種雄牛等の情報公開を積極的に発信した。

20. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）

機械導入事業について、大分県内におけるクラスター協議会に対して、事業推進（説明会等）及び、参加要望の取り纏めなどの窓口業務を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託	100,000	57,790

(価格安定課)

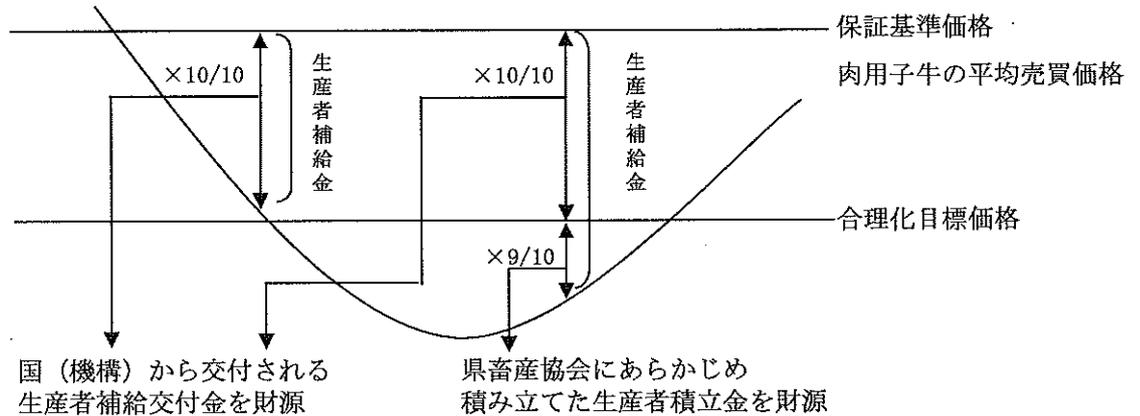
1. 肉用子牛生産者補給金制度

平成26年度第4四半期～平成27年度第3四半期を通して全ての品種で子牛販売価格が高値で推移したため生産者補給金の発動はなかった。

<制度の仕組み>

肉用子牛の価格が低落し、保証基準価格を下回った場合に、生産者に対し生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図ることを目的としている。

具体的には、四半期毎に農林水産大臣が告示する肉用子牛の平均売買価格が保証基準価格を下回った場合に、その期間中に販売、又は、自家保留した肉用子牛に対し生産者補給金を交付する。



(1) 生産者補給金交付契約締結状況

(単位：人)

契約区分	契約者数		
	26年度	27年度	備考
個人	1,820	1,206	
農協	-	-	
農協連	-	-	
農事組合法人	2	3	
株式会社	5	5	
有限会社	18	12	
民法法人	-	-	
合計	1,845	1,226	

(2) 事務委託契約締結状況

(単位：件)

事務委託先	事務委託先数		
	26年度	27年度	備考
J A 農協	5	5	
専門農協	2	2	県酪、熊本
農協連	1	1	全農大分県本部
その他	1	1	配合飼料基金
合計	9	9	

(3) 契約肉用子牛個体登録頭数の内訳

(単位：頭)

区分 品種区分	平成27年度					備考
	1月1日～ 3月31日	4月1日～ 6月30日	7月1日～ 9月30日	10月1日～ 12月31日	1月～12月 合計	
黒毛和種	2,859	2,509	2,861	2,905	11,134	
褐毛和種	1	0	3	4	8	
乳用種の品種	720	776	693	384	2,573	
肉専用種と乳用種の交雑の品種	386	398	278	129	1,191	
合計	3,966	3,683	3,835	3,422	14,906	

(4) 保証基準価格と合理化目標価格

(単位：円)

品種区分	保証基準価格	合理化目標価格	備考
黒毛和種	332,000	277,000	
褐毛和種	303,000	255,000	
黒毛和種及び褐毛和種以外の肉専用種の品種	217,000	147,000	日本短角種等
乳用種の品種	130,000	88,000	
肉専用種と乳用種の交雑の品種	199,000	144,000	

(5) 指定肉用子牛の規格

肉用子牛の種別	体 重	
黒毛和種	250キログラム以上	320キログラム以下
褐毛和種	260キログラム以上	330キログラム以下
無角和種	200キログラム以上	270キログラム以下
日本短角種	200キログラム以上	280キログラム以下
アングス種及びヘレフォード種	260キログラム以上	310キログラム以下
ホルスタイン種(雌を除く)	250キログラム以上	330キログラム以下
ホルスタイン種を母とする交雑種	260キログラム以上	320キログラム以下

(6) 平均売買価格

(単位：円)

区分 品種区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
平成27年1月1日～3月31日	614,000	518,600	361,900	167,700	357,400
平成27年4月1日～6月30日	645,400	539,200	338,900	195,600	373,900
平成27年7月1日～9月30日	664,100	573,600	328,900	236,400	377,800
平成27年10月1日～12月31日	707,700	623,300	484,500	262,300	389,800

(7) 契約肉用子牛1頭当たりの負担金(生産者積立金の額)

(単位:円)

区分	生産者積立金		負担区分		
			機構(1/2)	大分県(1/4)	生産者(1/4)
黒毛和種	1~6月	2,200	1,100	550	550
	7~12月	1,200	600	300	300
褐毛和種	1~6月	11,900	5,950	2,975	2,975
	7~12月	4,600	2,300	1,150	1,150
黒毛和種及び褐毛和種以外の 肉専用種の品種	1~6月	24,400	12,200	6,100	6,100
	7~12月	12,400	6,200	3,100	3,100
乳用種の品種	1~6月	12,700	6,350	3,175	3,175
	7~12月	6,400	3,200	1,600	1,600
肉専用種と乳用種の 交雑の品種	1~6月	5,000	2,500	1,250	1,250
	7~12月	2,400	1,200	600	600

(8) 生産者積立金造成内訳

(単位:頭、円)

品 種	区 分		契約頭数	積立単価	積立所要額	負担区分		
						機構(1/2)	大分県(1/4)	生産者(1/4)
黒毛和種	継 続	1月~6月	4,855	2,200	10,681,000	5,340,500	2,670,250	2,670,250
		7月~12月	5,597	1,200	6,716,400	3,358,200	1,679,100	1,679,100
		計	10,452		17,397,400	8,698,700	4,349,350	4,349,350
	新 規	1月~7月	513	2,200	1,128,600	564,300	282,150	282,150
		7月~13月	169	1,200	202,800	101,400	50,700	50,700
		計	682		1,331,400	665,700	332,850	332,850
合計	11,134		18,728,800	9,364,400	4,682,200	4,682,200		
褐毛和種	継 続	1月~6月	0	11,900	0	0	0	0
		7月~12月	7	4,600	32,200	16,100	8,050	8,050
		計	7		32,200	16,100	8,050	8,050
	新 規	1月~7月	1	11,900	11,900	5,950	2,975	2,975
		7月~13月	0	4,600	0	0	0	0
		計	1		11,900	5,950	2,975	2,975
合計	8	0	44,100	22,050	11,025	11,025		
乳用種の品種	継 続	1月~6月	0	12,700	0	0	0	0
		7月~12月	0	6,400	0	0	0	0
		計	0		0	0	0	0
	新 規	1月~7月	1,496	12,700	18,999,200	9,499,600	4,749,800	4,749,800
		7月~13月	1,077	6,400	6,892,800	3,446,400	1,723,200	1,723,200
合計	2,573	19,100	25,892,000	12,946,000	6,473,000	6,473,000		
肉専用種と乳 用種の交雑の 品種	継 続	1月~6月	342	5,000	1,710,000	855,000	427,500	427,500
		7月~12月	369	2,400	885,600	442,800	221,400	221,400
		計	711	-	2,595,600	1,297,800	648,900	648,900
	新 規	1月~7月	442	5,000	2,210,000	1,105,000	552,500	552,500
		7月~13月	38	2,400	91,200	45,600	22,800	22,800
		計	480	7,400	2,301,200	1,150,600	575,300	575,300
合計	1,191		4,896,800	2,448,400	1,224,200	1,224,200		
計	継 続	11,170	-	20,025,200	10,012,600	5,006,300	5,006,300	
	新 規	3,736	-	29,536,500	14,768,250	7,384,125	7,384,125	
	計	14,906	-	49,561,700	24,780,850	12,390,425	12,390,425	

(9) 生産者積立金及び生産者積立準備金造成状況 (平成28年3月31日現在)

(単位:円)

区分		保証基準価格の品種区分	黒毛和種	褐毛和種	乳用種	交雑種	計	
I 期 首 残 高	(1) 生産者積立金		0	0	0	0	0	
	(2) 生産者積立準備金		575,300,631	0	0	0	575,300,631	
	内 訳	(3) 生産者の負担金充当分	153,133,555	-	-	-	153,133,555	
		(4) 県の生産者積立助成金充当分	160,298,369	-	-	-	160,298,369	
		(5) 機構の生産者積立助成金充当分	261,868,707	-	-	-	261,868,707	
II 生 産 者 積 立 金 積 立 実 績	(6) 生産者積立金純増加額 (9)+(12)+(15)+(18)		9,697,250	25,025	19,419,000	3,023,700	32,164,975	
	(7) 生産者積立準備金からの繰入額 (10)+(13)+(16)		9,031,550	19,075	6,473,000	1,873,100	17,396,725	
	(8) 計		18,728,800	44,100	25,892,000	4,896,800	49,561,700	
	内 生 産 者	生	(9) 負担金	332,850	2,975	6,473,000	575,300	7,384,125
			(10) 生産者積立準備金(3)からの繰入	4,349,350	8,050	0	648,900	5,006,300
			(11) 小計	4,682,200	11,025	6,473,000	1,224,200	12,390,425
	内 県		(12) 生産者積立助成金	0	0	0	0	0
			(13) 生産者積立助成金(4)からの繰入	4,682,200	11,025	6,473,000	1,224,200	12,390,425
			(14) 小計	4,682,200	11,025	6,473,000	1,224,200	12,390,425
	内 機 構		(15) 生産者積立助成金	9,364,400	22,050	12,946,000	2,448,400	24,780,850
			(16) 生産者積立助成金(5)からの繰入	0	0	0	0	0
			(17) 小計	9,364,400	22,050	12,946,000	2,448,400	24,780,850
		そ 他	(18) 生産者積立金とすることを指定して寄 付又は補助された財産	0	0	0	0	0
	III 他 の 資 金 か 繰 ら 入 の 状 態	(19) 特別の積立金から生産者積立金への繰入金額		0	0	0	0	0
		(20) 償還円滑化積立金から生産者積立金への繰入金額		0	0	0	0	0
(21) 生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入 金額		0	0	0	0	0		
(22) 生産者積立金に係る運用果実		2,607	7	4,181	708	7,503		
(23) 生産者補給金交付額 (21)を含む		0	0	0	0	0		
(24) 生産者積立金から借入金返済額		0	0	0	0	0		
(25) 生産者分生産者積立準備金に係る運用果実		0	0	0	0	0		
(26) 県分生産者積立準備金に係る運用果実		21,589	0	0	0	21,589		
(27) 機構分生産者積立準備金返還金		261,868,707	0	0	0	261,868,707		
(28) 生産者分生産者積立準備金返還金		77,011,999	0	0	0	77,011,999		
(29) 償還円滑化積立金から生産者積立準備金への繰入額		0	0	0	0	0		
IV 期 末 残 高	(30) 生産者積立金 (1)+(8)+(19)+(20)+(21)+(22)-(23)-(24)		18,731,407	44,107	25,896,181	4,897,508	49,569,203	
	(31) 生産者積立準備金 (32)+(33)+(34)		219,044,789	0	0	0	219,044,789	
	内 訳	(32) 生産者の負担金充当分 ※計の欄 (3)-(10)+(25)+(28)	71,115,256	-	-	-	71,115,256	
		(33) 県の生産者積立助成金充当分 ※計の欄 (4)-(13)+(26)	147,929,533	-	-	-	147,929,533	
		(34) 機構の生産者積立助成金充当分 ※計の欄 (5)-(16)-(27)	0	-	-	-	0	

(10) 生産者補給金交付状況

1) 生産者補給金（機構、県協会合計分）

(単位：円、頭、人)

区 分			保証基準価格の品種区分		黒毛和種	褐毛和種	乳用種	乳交雑種	合 計
平成 26 年 度	第 4 四 半 期	平成27年 1月1日 ～	交付対象	販 売	-	-	-	-	-
			頭数 ①	保 留	-	-	-	-	-
				合 計	-	-	-	-	-
		平成27年 3月31日	② 生産者補給金単価	-	-	-	-	-	
			③ 生産者補給金交付額 (①×②)	-	-	-	-	-	
交付対象生産者数			-	-	-	-	-		
平 成 27 年 度	第 1 四 半 期	平成27年 4月1日 ～	交付対象	販 売	-	-	-	-	-
			頭数 ①	保 留	-	-	-	-	-
				合 計	-	-	-	-	-
		平成27年 6月30日	② 生産者補給金単価	-	-	-	-	-	
			③ 生産者補給金交付額 (①×②)	-	-	-	-	-	
交付対象生産者数			-	-	-	-	-		
成 27 年 度	第 2 四 半 期	平成27年 7月1日 ～	交付対象	販 売	-	-	-	-	-
			頭数 ①	保 留	-	-	-	-	-
				合 計	-	-	-	-	-
		平成27年 9月30日	② 生産者補給金単価	-	-	-	-	-	
			③ 生産者補給金交付額 (①×②)	-	-	-	-	-	
交付対象生産者数			-	-	-	-	-		
度	第 3 四 半 期	平成27年 10月1日 ～	交付対象	販 売	-	-	-	-	-
			頭数 ①	保 留	-	-	-	-	-
				合 計	-	-	-	-	-
		平成27年 12月31日	② 生産者補給金単価	-	-	-	-	-	
			③ 生産者補給金交付額 (①×②)	-	-	-	-	-	
交付対象生産者数			-	-	-	-	-		
合 計			交付対象	販 売	-	-	-	-	-
			頭数 ①	保 留	-	-	-	-	-
				合 計	-	-	-	-	-
			② 生産者補給金単価			-	-	-	-
			③ 生産者補給金交付額 (①×②)			-	-	-	-
交付対象生産者数			-	-	-	-	-		

2. 肉用牛繁殖経営支援事業

平成26年度第4四半期～平成27年度第3四半期の支援交付金の発動はなかった。

(1) 交付基準

肉用子牛生産者補給金制度を補完し、四半期毎の平均売買価格が発動基準を下回った場合に、当該四半期に販売又は自家保留された肉用子牛を対象として、発動基準を下回った額の4分の3に相当する額の支援交付金が交付される。

(2) 発動基準価格

(平成26年度第4四半期)

(単位：円)

品種	保証基準価格	発動基準	平均売買価格
黒毛和種	329,000	420,000	614,000
褐毛和種	300,000	380,000	518,600
その他の肉専用種	215,000	280,000	361,900

(平成27年度第1四半期以降)

(単位：円)

品種	保証基準価格	発動基準	平均売買価格		
			1期	2期	3期
黒毛和種	332,000	420,000	645,400	664,100	707,700
褐毛和種	303,000	380,000	539,200	573,600	623,300
その他の肉専用種	217,000	280,000	338,900	328,900	484,500

3. 肉用牛肥育経営安定特別対策事業

本年度（平成27年1月期～平成28年1月期）における交付実績は、3,265頭に対して69,724,300円であった。その内、肉専用種は枝肉相場が堅調に推移したことで補填金の発動はなかった。しかし、交雑種については、1,389頭に対して10,730,000円、乳用種については、1,876頭に対して58,994,300円の実績となった。

(1) 交付基準

肉用牛肥育経営の安定を図るため、粗収益が生産コストを下回った場合に、生産者の抛出と国の補助により造成された基金から粗収益と生産費との差額の8割を補填する。本来この事業は四半期毎の交付だが、平成23年7月以降月毎の交付となっている。さらに平成26年4月以降は概算払方式となっている。

(2) 1頭当たり基金造成額の内訳

(単位：頭)

区分	1頭当たり造成額 (負担割合)		負担区分		
			生産者	大分県	農畜産業振興機構
			1/4		3/4
		定額	定額		
肉専用種	27年3月以前	72,000	17,250	750	54,000
	27年4月以降	52,000	12,250	750	39,000
交雑種	27年3月以前	120,000	29,170	830	90,000
	27年4月以降	100,000	24,170	830	75,000
乳用種	27年3月以前	80,000	19,470	530	60,000
	27年4月以降	68,000	16,470	530	51,000

(3) 積立頭数の内訳

(単位：頭)

区分	27年				28年	計
	2月1日～ 3月31日	4月1日～ 6月30日	7月1日～ 9月30日	10月1日～ 12月31日	1月1日～ 1月31日	
肉専用種	976	1,375	1,279	1,316	458	5,404
交雑種	445	813	790	860	268	3,176
乳用種	841	1,114	901	637	266	3,759
計	2,262	3,302	2,970	2,813	992	12,339

(4) 肥育安定基金の造成状況

(単位：円)

区分			肉専用種	交雑種	乳用種	合計
期首残高			718,977,803	483,859,562	229,427,196	1,432,264,561
増 加	積 立 金	造成実績				
		農畜産業振興機構	225,471,000	244,890,000	199,278,000	669,639,000
		大分県				
		補助金	3,242,400	2,108,864	1,593,816	6,945,080
		準備金	810,600	527,216	398,454	1,736,270
	生産者	71,104,000	78,993,920	64,433,730	214,531,650	
	計	300,628,000	326,520,000	265,704,000	892,852,000	
	運用益	263,920	183,882	98,599	546,401	
	小計	300,891,920	326,703,882	265,802,599	893,398,401	
減 少	肥育牛補填金		0	10,730,000	58,994,300	69,724,300
	小計		0	10,730,000	58,994,300	69,724,300
期末残高			1,019,869,723	799,833,444	436,235,495	2,255,938,662

(5) 補填金単価算定結果

(単位：円)

区 分		27年					
		2月	3月	4月	5月	6月	7月
肉専用種	平均粗収益(A)	1,056,537	1,041,555	1,024,260	998,772	991,288	1,034,397
	平均生産費(B)	935,912	951,589	957,644	958,280	958,657	1,005,747
	差額(C) = (A) - (B)	120,625	89,966	66,616	40,492	32,631	28,650
	補てん金単価 = (C) × 0.8	-	-	-	-	-	-
交雑種	平均粗収益(A)	670,944	688,486	722,376	747,009	722,775	731,604
	平均生産費(B)	675,061	686,085	693,878	706,784	736,088	754,733
	差額(C) = (A) - (B)	△ 4,117	2,401	28,498	40,225	△ 13,313	△ 23,129
	補てん金単価 = (C) × 0.8	3,200	-	-	-	10,600	18,500
乳用種	平均粗収益(A)	368,459	380,086	414,594	423,189	430,181	450,427
	平均生産費(B)	448,073	451,502	450,600	454,073	446,402	451,088
	差額(C) = (A) - (B)	△ 79,614	△ 71,416	△ 36,006	△ 30,884	△ 16,221	△ 661
	補てん金単価 = (C) × 0.8	63,600	57,100	28,800	24,700	12,900	-

区 分		27年					28年
		8月	9月	10月	11月	12月	1月
肉専用種	平均粗収益(A)	1,021,681	1,049,376	1,123,244	1,131,810	1,172,658	1,143,030
	平均生産費(B)	1,006,136	1,005,986	994,923	994,269	994,059	995,878
	差額(C) = (A) - (B)	15,545	43,390	128,321	137,541	178,599	147,152
	補てん金単価 = (C) × 0.8	-	-	-	-	-	-
交雑種	平均粗収益(A)	739,690	731,496	750,390	758,224	765,811	742,484
	平均生産費(B)	739,843	734,474	701,547	692,323	692,687	698,715
	差額(C) = (A) - (B)	△ 153	△ 2,978	48,843	65,901	73,124	43,769
	補てん金単価 = (C) × 0.8	-	2,300	-	-	-	-
乳用種	平均粗収益(A)	452,463	454,363	460,383	462,583	458,586	455,245
	平均生産費(B)	448,093	451,458	438,302	443,871	450,800	456,683
	差額(C) = (A) - (B)	4,370	2,905	22,081	18,712	7,786	△ 1,438
	補てん金単価 = (C) × 0.8	-	-	-	-	-	-

※肉専用種については、H27.2～3月分は全国算定により算出し、H27.4月以降は地域算定により算出している。

※交雑種、乳用種については全国算定により算出している。

※H27.2～12月分は確定単価。H28.1月は概算単価となっている。

(6) 肥育牛補填金交付実績総括表

区分	品種区分	交付対象者数 (人)	交付対象頭数 (頭) ①	補填金額	
				②単価 (円/頭)	③交付額 (①×②) (円)
平成27年 1月期	肉専用種	-	0	0	0
	交雑種	-	258	3,800	980,400
	乳用種	-	290	3,800	1,102,000
	計	31	548		2,082,400
平成27年 2月期	肉専用種	-	0	0	0
	交雑種	-	276	3,200	883,200
	乳用種	-	286	63,600	18,189,600
	計	30	562		19,072,800
平成27年 3月期	肉専用種	-	0	0	0
	交雑種	-	0	0	0
	乳用種	-	314	57,100	17,929,400
	計	11	314		17,929,400
平成27年 4月期	肉専用種	-	0	0	0
	交雑種	-	0	0	0
	乳用種	-	303	28,800	8,726,400
	計	13	303		8,726,400
平成27年 5月期	肉専用種	-	0	0	0
	交雑種	-	0	0	0
	乳用種	-	359	24,700	8,867,300
	計	13	359		8,867,300
平成27年 6月期	肉専用種	-	0	0	0
	交雑種	-	277	10,600	2,936,200
	乳用種	-	324	12,900	4,179,600
	計	28	601		7,115,800
平成27年 7月期	肉専用種	-	0	0	0
	交雑種	-	284	18,500	5,254,000
	乳用種	-	0	0	0
	計	17	284		5,254,000
平成27年 8月期	肉専用種	-	0	0	0
	交雑種	-	0	0	0
	乳用種	-	0	0	0
	計		0		0
平成27年 9月期	肉専用種	-	0	0	0
	交雑種	-	294	2,300	676,200
	乳用種	-	0	0	0
	計	17	294		676,200
平成27年 10月期	肉専用種	-	0	0	0
	交雑種	-	0	0	0
	乳用種	-	0	0	0
	計		0		0
平成27年 11月期	肉専用種	-	0	0	0
	交雑種	-	0	0	0
	乳用種	-	0	0	0
	計		0		0
平成27年 12月期	肉専用種	-	0	0	0
	交雑種	-	0	0	0
	乳用種	-	0	0	0
	計		0		0
平成28年 1月期	肉専用種	-	0	0	0
	交雑種	-	0	0	0
	乳用種	-	0	0	0
	計		0		0
合計	肉専用種	-	0	-	0
	交雑種	-	1,389	-	10,730,000
	乳用種	-	1,876	-	58,994,300
	計	160	3,265		69,724,300

※合計の交付対象者数は延べ人数である。

※平成26年度から補填金の概算払いが実施されており、四半期ごとに精算される。

27年1月分は精算払額、27年2月～12月分は確定金額、28年1月分は概算金額となっている。

4. 大分県肉豚価格安定対策事業

独立行政法人 農畜産業振興機構が実施する養豚経営安定対策事業（平成27年度～29年度まで：直接交付方式）に参加する県内の養豚生産者が積み立てする生産者負担金の一部を補助する事業を実施した。（県費補助金は、畜産協会より四半期毎に農畜産業振興機構の養豚基金に積み立てする。）

(1) 生産者負担金単価 (円/頭)

区 分	生産者負担金単価	内	
		県補助金	生産者負担分
第1四半期～第4四半期	700	82	618

(2) 事業対象頭数 232,566頭

(3) 肉豚補てん準備金造成状況 (単位：円)

区 分		金 額	附 記
期 首 残 高		25,712,964	前期繰越金
増加	運用益	7,364	
	肉豚補填積立金からの繰入	0	
	養豚基金負担金返戻金受入	44,555,871	事業終了に伴う返戻金
小 計		44,563,235	
減少	養豚基金負担金支出	6,356,804	
	小 計	6,356,804	
期 末 残 高		63,919,395	

(4) 肉豚補てん積立金造成状況 (単位：円)

区 分		金 額	附 記
期 首 残 高		0	
増加	県生産者積立金補助金収入	12,713,608	
	小 計	12,713,608	
減少	養豚基金負担金支出	12,713,608	
	小 計	12,713,608	
期 末 残 高		0	

5. その他協会の目的を達成するために必要な事業

(1) 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業

- 1) 生産者補給金交付契約を締結した生産者の個体識別及び個体登録、保留確認、生産者に対する啓発指導及び業務の適正な実施等を図るため、全国統一電算事務処理システムによる報告を行う。また、家畜市場での取引情報を収集し、機構へ報告した。
- 2) 当制度の適正な実施体制を図るため事務委託先及び契約生産者を対象に肉用子牛生産者補給金制度等に係る交付契約の内容、手続き等についての点検、調査、指導を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	14,336,000	12,538,722

(2) 指定協会運営体制支援事業

肉用子牛生産者補給金制度の円滑な実施を図るため運営体制の強化を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	5,346,000	5,346,000

(3) 肉用牛繁殖経営地域推進事業

事業の円滑な推進を図るため、推進会議開催、調査指導を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	3,522,000	3,163,167

(4) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業（肥育経営安定推進）

事業の円滑な実施を図るため、推進会議開催、調査指導を行うとともに、補填金の円滑な交付に努めた。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	7,504,120	7,502,732

(5) 養豚経営安定対策事業に係る業務委託事業

平成23年度より畜産業振興機構が直接方式で実施する養豚経営安定対策事業の円滑な実施を図るため、事業内容の周知や手続きに関する説明会の開催及び参加する生産者からの相談業務等を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 委託費	485,965	467,371

6. 業務実施事項

(1) 業務運営基金 (平成28年3月31日現在)

(単位：千円)

摘 要		会員数	子牛	肉豚	計
寄託金					
	大 分 県	1	100,000	-	100,000
	市 町 村	18	15,580	-	15,580
	農 協	5	52,150	4,160	56,310
農 協 連	中 央 会	1	10	-	10
	県 信 連	1	7,660	2,000	9,660
	全 農 大 分 県 本 部	1	26,260	7,510	33,770
	全 国 共 済 連	1	3,830	1,500	5,330
	畜 産 公 社	1	-	100	100
	配 合 飼 料 基 金	1	100	510	610
	県 酪 農 協	1	5,000	-	5,000
	ジェイエイ北九州くみあい飼料(株)	1	-	500	500
	計	32	210,590	16,280	226,870
補助金					
	全国肉用牛振興基金協会	-	12,000	-	12,000
	計	-	12,000	-	12,000

(2) 基本財産 (平成28年3月31日現在)

(単位：千円)

摘 要		子牛	肉豚	計
特別の積立金より繰入		200,000	-	200,000
合 計		200,000	-	200,000

(3) 長期預け金

(単位：千円)

区 分	前年度末現在	当 期		当年度末
		増加額	減少額	
全 国 肉 用 牛 振 興 基 金 協 会	6,600	0	0	6,600

(家畜衛生課)

1. 家畜生産農場清浄化支援対策事業

家畜の伝染性疾病を清浄化するため、地域一体となった取り組みが重要である。このためヨーネ病等の清浄化の推進、白血病の感染拡大防止対策及び吸血昆虫媒介疾病の発生・流行を防止するための組織的なワクチン接種を推進し、また、生産者自らが飼養衛生管理の向上に取り組むための支援を行うことにより家畜の損耗防止を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
国庫補助金	6,083,000	5,449,806
事業収入 (ヨーネ病自己資金)	769,000	768,600

(1) ヨーネ病早期清浄化のための防疫対策

ヨーネ病自主検査

ヨーネ病細菌培養等検査 (糞便の細菌培養)

家畜保健衛生所へ検査依頼頭数	大 分	0 頭
	豊後大野	0 頭
	玖 珠	0 頭
	宇 佐	305 頭
	計	305 頭

(2) 白血病の感染拡大防止対策

牛白血病の感染拡大防止を図るため、講習会等の開催、発生農業等での重点的な検査や、共同放牧場での吸血昆虫の駆除対策の推進を行った。

講習会の開催

開催日：平成27年9月14日

演 題：「牛白血病の現状と対策について」

講 師：北海道大学大学院 獣医学研究科 今内 覚 准教授

(3) 農場飼養衛生管理強化対策

農場飼養衛生管理向上のための指導体制を確立し、生産者自らが飼養衛生管理の向上に取り組むための支援を行うことにより家畜の損耗防止を図った。

- ・ 検討会の開催 1回
- ・ 指導農場数 394戸 (延べ戸数 493戸)

(4) 疾病発生流行防止支援対策

吸血昆虫媒介疾病のワクチンを接種することで牛の疾病発生・流行防止を推進し、家畜の損耗防止を図った。

2. 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業

死亡牛の円滑な収集、輸送、並びに適正な処理をすることにより、BSE検査の円滑な実施と良好な家畜衛生及び環境の維持を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
国庫補助金	11,466,000	8,898,345

(1) 死亡牛検査処理安定化対策

輸送費及び化製処理費に対する補助

〔補助対象頭数及び助成金額〕

	第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	H27年度合計
48ヶ月齢以上	123	156	147	154	580
助成金額（円）	1,411,500	1,789,000	1,680,500	1,766,000	6,647,000

3. 獣医療提供体制整備推進総合対策事業

産業動物診療や家畜防疫体制を強化・維持するため県と連携し、本県での就業を希望する獣医系学生に対する修学資金の給付を行った。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
国庫補助金	6,120,000	6,100,601

本年度対象学生： 9名 （大分県 1／2）

4. 家畜防疫互助基金支援事業

口蹄疫や豚コレラ等の海外悪性伝染病が万一発生した場合、損害を互助補償し畜産経営への影響を緩和するため、生産者が行う積立を支援することにより畜産経営の安定的発展に努めた。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
農畜産業振興機構 補助金	2,102,000	2,032,045

(1) 家畜防疫互助等推進事業

推進会議の開催、生産者・関係団体等に対する事業の普及、指導、連絡調整等

(2) 家畜防疫互助事業

契約状況一覧

	契約戸数（戸）	家畜の種類	契約頭数（頭）	積立金額（円）
乳用牛・肉用牛	1,253	・乳用牛（24ヶ月齢以上）	9,120	2,143,200
		・乳用牛（24ヶ月齢未満）	3,667	348,365
		・肉専用繁殖雌（24ヶ月齢以上）	15,499	3,487,275
		・肉専用繁殖雌（24ヶ月齢未満） 及び肉専用肥育牛	20,948	2,304,280
		・交雑種	6,014	631,470
		・乳用種肥育牛	5,326	505,970
		計	60,574	9,420,560
豚	家族型 13	・繁殖用種豚（雌）	873	104,760
		・ "（雄）	49	5,880
		・肥育豚	9,030	270,900
	小 計		9,952	381,540
	企業型 20	・繁殖用種豚（雌）	10,034	1,254,250
		・ "（雄）	358	44,750
・肥育豚		108,640	3,802,400	
小 計		119,032	5,101,400	
計		128,984	5,482,940	
合 計				14,903,500

5. 自衛防疫推進事業

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
大分県 補助金	174,000	174,000

(1) 推進事業の開催

開催年月日	会議の名称	開催場所
H27.12.2	牛病部会	全農大分県本部会議室
H28.2.5	予防注射事業標準対価表検討会	全農大分県本部会議室
H28.3.14	家畜衛生専門委員会	大分県庁

(2) 調査資料の作成

対象農家	戸 数
養 豚 農 家	49 戸
養 鶏 農 家	131 戸
計	180 戸

(3) 広報活動

- ・飼養衛生管理基準遵守に関するクリアファイル 2,050部
- ・衛生管理区域立入禁止ステッカー 360部
- ・予防接種啓発資料 (全農・市場日程表に掲載) 3,000部
- ・畜産衛生手帳 150冊

6. 死亡牛適正処理促進事業

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
大分県 補助金	898,000	809,742
事業収入 (自己資金)	898,000	809,743

- (1) 施設運営費 . . . コンテナ維持管理電気料
 任意労災保険
 フォークリフト年次・月次検査手数料 } 1/2 補助

7. 大分県獣医師確保対策事業

産業動物診療や家畜防疫体制を強化・維持するため、本県での就業を希望する獣医系学生に対する修学資金の給付やインターンシップ研修を実施し、必要とする獣医師の安定確保に努めた。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
大分県 補助金	9,150,000	9,117,290

給付対象学生 : 9名 (国 1/2)
 3名 (県) 合計 12名
 インターンシップ研修を受けた学生 : 6名

8. 馬飼養衛生管理特別対策事業

馬の飼養衛生について馬飼養者及び関係団体を組織化し、計画的に事業を実施、浸透させることにより、馬飼養衛生管理体制の総合的な整備と馬産の振興に資するための指導を行う

た。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	370,000	365,059

(1) 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催

平成27年12月8日

(2) 馬飼養衛生管理技術地方講習会の開催

平成27年12月8日

演題：「馬の運動器疾患について」

講師：JRA 日本中央競馬会 馬事部防疫課 立野 大樹 先生

(3) 地域馬獣医療実態調査

調査戸数 15戸

9. 衛生体制強化基金事業（自衛防疫思想普及事業）

自衛防疫の強化等をテーマとして地区自衛防疫団体主催の講習会等を開催するとともに、飼養衛生管理基準の啓発を目的として衛生管理区域立入禁止ステッカーを作成・配布し、自衛防疫意識の高揚を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	83,000	83,000

(1) 啓発資料の作成

立入禁止ステッカー 530部

(2) 講習会の開催

開催年月日	開催者	テーマ及び講師	出席人数
H28.3.24	中央牛疾病 対策協議会	「白血病とその対策について」 大分家畜保健衛生所病性鑑定部 長岡健朗 氏	18

10. 農場 HACCP 認証支援地域強化促進事業

農場 HACCP への取り組み支援による農場の育成を通じて、農場 HACCP 認証の広範かつ加速的な普及を図るため、地域での指導體制を整備し、農場 HACCP の構築に取り組んだ。併せて、これまでの事業成果で得られたモデル農場における課題の抽出と改善成果を活用し、生産農場での衛生管理システムの構築等、農場 HACCP の取り組みを図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	2,551,000	2,386,788

(1) 対象農場 3戸（新規2戸・継続1戸）

(2) 普及推進に係る講習会の開催 2回

1) 開催日 平成27年9月14日

演 題 「畜産農場における HACCP 運用のメリット」

講 師 静岡県畜産技術研究所 酪農科 赤松 裕久 上席研究員

2) 開催日 平成28年2月8日

演 題 「農場 HACCP 認証農場への取り組み」

講 師 (株)ゆふいん牧場 溝邊 聡一郎 氏

(3) 地域取組促進に係る講習会の開催

開催日 平成27年12月21日 (大分家畜保健衛生所)

開催日 平成27年12月22日 (玖珠家畜保健衛生所)

演題 「HACCPとは?そして農場 HACCPとは?」

講師 (株)サン・ダイコー 天願 竜一 氏

演題 「農場 HACCP 認証農場への取り組み」

講師 (株)ゆふいん牧場 溝邊 聡一郎 氏

1.1. 自衛防疫体制強化推進事業

伝染性疾病発生時の防疫対応等が出来るよう、生産者段階での防疫演習等を実施した。また特定悪性慢性感染症の防疫措置の基礎となる家畜の飼養衛生管理基準の徹底・啓発を行い、地域自衛防疫体制の強化・定着を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
家畜衛生対策推進協議会委託費	2,456,000	2,337,765

(1) 防疫演習見学及び参加事例

1) 県域単位で開催した実地防疫演習の見学 (1回)

2) 家畜人工授精師を対象として開催した机上・実地防疫演習 (2回)

(2) 飼養衛生管理基準啓発推進対策

1) 講習会の開催 (1回)

1.2. 馬インフルエンザ等防疫強化特別対策事業

馬伝染性貧血に係る清浄性確認調査を行うとともに、在来馬等馬伝染性貧血清浄化地域推進検討会を開催し、清浄化を図るための基礎情報を得るため、在来馬等について飼養及び衛生状況の実態調査、馬伝染性貧血について検討を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	131,000	92,234

(1) 在来馬等馬伝染性貧血清浄化地域推進検討会の開催

平成27年12月8日

(2) 在来馬等馬伝染性貧血清浄性推進

清浄性確認調査 9戸

1.3. 馬伝染性疾病防疫推進対策事業

地域における自主防疫活動の強化を図るため、競走馬以外の馬に対する馬インフルエンザのワクチン接種の推進及び馬飼養衛生状況等の知識の普及啓発等の取り組みを行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	264,000	214,235

(1) 馬ワクチン接種等地域推進対策検討会の開催

平成27年12月8日

(2) 馬インフルエンザ接種頭数 46頭

1.4. 野生獣衛生体制整備緊急対策事業

野生獣による伝染病の伝播拡散を防止するため、中山間地域における野生獣の衛生実態調

査を行い、家畜衛生関係者を中心とした畜産分野への情報発信体制を地域に構築・整備をした。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
家畜衛生対策推進協議会委託費	2,989,000	2,839,243

(1) 地域衛生技術連絡協議会の開催

- 第1回 平成27年 6月 3日
- 第2回 平成27年12月17日
- 第3回 平成28年 3月 8日

(2) 野生獣の衛生実態調査

- イノシシ 48頭 (検査項目 オーエスキー病・トキソプラズマ病・豚丹毒・PRRS・PED)
- シカ 24頭 (検査項目 牛白血病・RS・BVD-MD・IBR)

15. 豚流行性下痢まん延防止強化対策事業

国の豚流行性下痢 (PED) の防疫マニュアルに基づき、地域の状況に応じた効果的な畜舎消毒や予防接種の励行等、地域防疫計画を作成し、予防接種を的確に実施する農場の繁殖豚を対象に獣医師による衛生管理点検指導を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	1,266,000	1,252,486

(1) PED 地域対応推進対策会議の開催

- 第1回：平成27年8月6日
- 演 題：「豚流行性下痢対策に学ぶ農場の防疫対策」
「疾病に強い豚群を作る～まずは母豚群の管理から～」
- 講 師：宮崎県農業共済組合連合会 生産獣医療センター
生産獣医療係長 (豚担当) 山本 昇 先生

- 第2回：平成28年3月8日
- 演 題：「豚流行性下痢 (PED) の最近の動向について」
- 講 師：大分家畜保健衛生所 人見 徹 氏

(2) PED まん延防止衛生対策指導

対象農場 2農場

16. 牛せき柱適正管理等推進事業

化製業者と、牛せき柱以外分別供給契約を締結した上で、牛せき柱を適正に管理し、適正管理の確認や作業者に対する指導・監督等を行う責任者を設置するとともに、研修会を自ら実施した食肉事業者に対し交付される促進費の交付事務に関する手続きを行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
畜産副産物協会 委託費	180,000	173,484

事業対象食肉業者 1社

17. 特定疾病予防接種推進事業

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
事業収入	66,544,000	66,403,142

国庫補助事業・協会単独事業実績

豚疾病 (単位：頭)

協 議 会 名	豚丹毒 (単)
県中央 (北海部)	3,988
県南地域	0
県西地区 (玖珠郡)	0
県北	0
合 計	3,988

牛疾病

(単位：頭)

協議会名	牛六混	牛五混	イバラキ	流行熱	流行熱・イバラキ	異常産三混	ヘモフィルス
県中央	1,202	8	1,143	0	0	1,103	101
県南	4,391	628	5,350	1,635	1,050	4,366	731
県西	3,035	0	3,053	0	0	3,463	753
県北	743	615	1,392	0	0	2,762	721
合 計	9,371	1,251	10,938	1,635	1,050	11,694	2,306

鶏疾病

(単位：千羽)

協 議 会 名	ND	NDIB
	生	生
県中央 (大分市)	114	0
県南地域 (大野地区)	0	12
県西地区	0	0
県北	0	0
合 計	114	12

18. 種畜精液保管譲渡推進事業

大分県肉用牛振興の基本方針に基づき、豊後牛の生産基盤の確立及び豊後牛銘柄確立のため、地域の実情に応じ大分県肉用牛改良方針に沿った精液の保管譲渡を実施した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
事業収入	17,204,000	17,261,439
事務手数料収入	1,203,000	1,254,260

支 所	譲渡本数 (本)
大 分	3,047
豊後大野	1,778
玖 珠	3,235
宇 佐	2,055
合 計	10,115

19. 予防注射事故対策事業

手当金及び見舞金交付

牛死亡 1頭 54,000円

牛診療 1頭 5,000円